

犬の寄生虫対策



フィラリア予防薬	剤形	フィラリア	消化管内線虫			ノミ		ダニ	耳ヒゼンダニ	剤形	ノミダニ駆除剤
			回虫	鉤虫	鞭虫	成虫駆除	発育阻害	成虫駆除			
カルドメックチュアブル	チュアブル	○	○	○		○	○	○		スポット	マイフリーガードα
ミルベマイシン	錠剤・粉	○	○	○	△	○	○	○			
システック	錠剤	○	○	○	○	○	○	○		スポット	プラクティック
		○	○	○	○	○	○	○		味付き錠剤	コンフォティス
パナメクチン	錠剤	○									
モキシデック注	注射(6/12ヶ月)	○									
レボリューション	スポット	○				○	○		○	スポット	レボリューション
アドバンテージハート	スポット	○				○				スポット	アドバンテージハート
						○	○			スポット	アドバンテージプラス

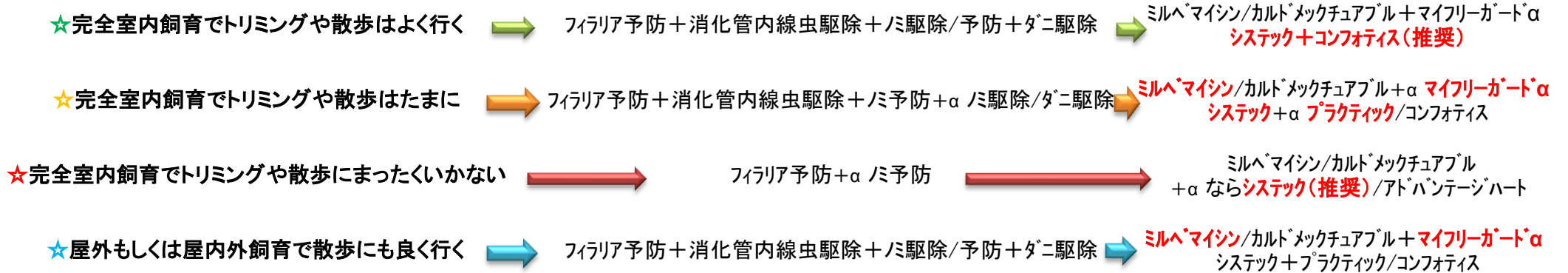
—飼育環境によって、推奨される対策が変わりますので、不明な点があれば遠慮なくご相談ください(裏面参照)—

飼育環境について

飼育環境

推奨対策

推奨薬剤



その他、同居犬や同居猫のいるいないや、オーナー様が外で多くの動物と触れ合うなどの条件によっても変わってきます。
また、キャンプで山や川に連れていくとか、田舎に帰省するなど山川間部に行かれる際は、特にダニ対策は重要です

フィラリア予防薬の剤形について

★錠剤	投薬が難しい事はありますが、薬の吸収は確実です。アレルギーを起こすリスクも少ないです。
★粉剤	食事(主にウェットフード)に混ぜ易く、液体にしての投薬も可能です。体重に合わせた処方ができます。
★チュアブル・ソフトチュアブル	投薬は簡便であることが多いが、まれに消化不良やアレルギーを起こすことがあります。
★スポットオン	投薬が難しい子には効果的ですが、フィラリア予防としては経皮的な効果にやや不安があります。
★注射	半年～通年持続しますが、副作用のリスクがあります。投薬が難しい子や投薬忘れには効果的です。

当院では、将来に投薬の必要性が生じる可能性が高いことを考慮して、トレーニングとして錠剤もしくは粉剤での投薬をお薦めしております。投薬方法に関してはお気軽にご相談下さい。